

科目区分	専門教育科目	授業科目名	解剖生理学実習			科目コード	23S302	担当者	井上 靖久			担当形態	単独	
対象学科・コース	生活創造学科 栄養士コース	配当年次	2年次	開講学期	前期	単位数	1	必修・選択の別	選択	免許・資格要件	栄養士必修			
授業形態	実習	履修条件									教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目			実務の経験内容及び科目との関連										科目に含めることが必要な事項	

授業の主題	人体の構造と機能の基礎を理解し、両者が関連してヒトの生命活動を保証していることを実感する。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	毎回レポートの提出を求める。コメントを付けて返却する。
授業の方法	3グループに分けて、同時並行的に行うので、説明は3回分まとめて行う。毎回、前回のレポートを提出する。最後にワークショップ形式の口頭発表を全員で行う。	アクティブ・ラーニングの実施方法	最終回にワークショップ形式の口頭発表を全員で行う。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修
第1回	全体の説明、神経・解剖系の概説	各回の準備を前もって確認することで復習とする	第9回	血圧	当該実験のレポート作成
第2回	3～5回の説明	毎回の説明は行わないので、必ず実験内容を把握してくる	第10回	11～13回の説明	毎回の説明は行わないので、必ず実験内容を把握してくる
第3回	組織標本観察	当該実験のレポート作成	第11回	体温	当該実験のレポート作成
第4回	人体の形態計測、人体解剖ビデオ観察	当該実験のレポート作成	第12回	発汗	当該実験のレポート作成
第5回	骨格標本、内臓標本観察	当該実験のレポート作成	第13回	細胞観察	当該実験のレポート作成
第6回	7～9回の説明	毎回の説明は行わないので、必ず実験内容を把握してくる	第14回	ワークショップの準備	データの各班からの収集
第7回	心拍数・心音・心電図	当該実験のレポート作成	第15回	ワークショップ	発表準備
第8回	呼吸機能	当該実験のレポート作成			事前・事後学修時間 (分/授業1回)

教科書 [書名/著者名/出版社]	人体の構造と機能①解剖生理学 ナーシンググラフィカ最新版/メディカ出版	受講生へのメッセージ	健康や疾患について日常的に、論理的に考える習慣をつけることを目指してください。
参考書 [書名/著者名/出版社]	なし		

